

事業の背景・目的

- ・都城市（以下「当市」という。）において、国カテゴリーCR絶滅危惧ⅠA類に分類されるキシマイワヘゴが令和2年3月に1株同定された。キシマイワヘゴは、当市及び宮崎県内において、一旦絶滅とされていたものが再発見されました。
- ・当市には、他にも希少な野生動植物が生育・生息しており、キシマイワヘゴをはじめとする希少な野生動植物とこれを育む自然環境を「地域の宝」として、保全していきます。

事業の内容

事業① 希少野生植物自生地測量及び図面作成事業

- ・林野庁に提出するため、生息地の正確な場所と保護地域の範囲を示した図面作成及び測量が完了、令和4年度以降林野庁との協議を進める。

事業② 希少野生植物基礎調査事業

- ・キシマイワヘゴの生育調査を周辺地域で実施したところ、令和3年度に新たに2株キシマイワヘゴとして同定されたため、保護柵を設置した。また、近似種が1株発見されたため、現在、遺伝子を調べるなど、鑑定を待っている。

事業③ 自生地保護事業

- ・自生地保護事業として、草木の繁茂が激しい時期は、キシマイワヘゴ自生地及び周辺自然環境の維持管理を実施し、災害等発生後は、必ず現地を確認し、柵の状態に応じて、修繕等を徹底して行った。

事業③



保護柵設置



得られた成果

本事業を通じた保護柵設置により、従来のシカによる食害がなくなり、キシマイワヘゴの維持管理が十分にできている状況です。今後も定期的な維持管理を通じて、キシマイワヘゴを保全していきます。

なお、キシマイワヘゴは、当市で1株しか発見されていませんでしたが、本事業を通じて新たに2株発見しました。保護しなければならない希少野生植物に保護柵を設置することで、保全に繋がっております。令和4年度以降、キシマイワヘゴ保全再生を目的とし、増殖事業を実施していきます。

また、市内の小中学生に対して、キシマイワヘゴを始めとした当市の希少野生動植物について興味を持ってもらうために、パンフレット等を作成し、当市に存在する希少野生動植物の希少性等についても周知を行っていきます。